

平成30年4月2日付【水道産業新聞】
＜水コン協が1日付で公益社団法人＞
社会的信頼性、プレゼンス高める

水コン協が1日付で公益社団法人

社会的信頼性、プレゼンス高める

全国上下水道コンサルタント協会（水コン協）は、1日付で公益社団法人に移行した。

全国的な民間活用の流れなど、事業執行のあり方が多様化するなかで、水コンサルタントの役割や責任にも変化が必要とされていることが、移行の

背景にあるとしている。水コン協は、昭和60年4月に設立。平成23年11月に一般社団法人に移行し、設立30周年を迎えた27年には、「多様な官民協

働の推進」を標榜する水コン協ビジョンを公表。自らが社会の変化に対応する改革を行う必要があるとし、新たな事業領域に取り組むため、異分野の技術・知識の習得や、業種間の連携を図る活動などを進めるなかで、社会

的信頼性とプレゼンスを高めることが不可欠と判断し、昨年9月の臨時総会で、公益社団法人化に向けた認定申請を行うことを決定。3月16日付で内閣府の公益認定等委員会から承認する旨の答申があり、移行に至った。

今後は、公益法人としての社会的責任を意識し、活動を強化していくとしている。

（水コン協提供）